

みんなが回収、みんなのごみ

～学校のごみ調べ～

1 ねらい

- (1) 実際にごみを集めることから、ごみを捨てることを見直すきっかけをつくりたい。
- (2) 身近な学校のごみを調べることで、ごみの量や種類を考えるきっかけをつくりたい。

2 関連教科

道徳・学級活動

3 用意するもの

学校内で出されたごみ/軍手/シート(ブルーシートなど)/ハカリ

4 進め方

問いかけ

学校ではどんなごみが出るか？/学校ではどれだけの量のごみが出るか？

本題

集めて、分けて、量ってみる。

- (1) 学校で出たごみを集めてくる。
- (2) 集めたごみをどのように分けるか話し合う。
きれい・汚い、燃える・燃えない など、話しあって分け方を決める。
- (3) ごみを分別し、重さを量る。

気をつけよう

ごみを扱うアクティビティなので、けがをしないように、また衛生面でも注意が必要。

気づき

- (1) 分別し、重さを量って、何がわかったのか？
- (2) 減らせるごみはどれか？ どうやったら減らせるのか？
- (3) 減らすことのできないごみはどれか？ どうして減らすことができないのか？

発展

クラスやグループでごみの減量行動計画をつくり、実践する。

メモ

ごみを減らすための四つの行動理念

英語の頭文字Rをとって4R(よんアール)という。

- (1) 始めに、**断る(リフューズ)** 生活のむだをなくす。
- (2) 次に、**減らす(リデュース)** 必要な物だけを買う。
- (3) そして、**再利用する(リユース)** なんども使える容器を使用。
- (4) 最後に、**再資源化する(リサイクル)** リサイクル製品の活用。



みんなが回収、みんなのごみ ワークシート

月 日

メンバー名

名前

集めたごみの重さを量ろう

kg

集めたごみを分けよう

	ごみを分けた理由	重さ		ごみを分けた理由	重さ
1		kg	4		kg
2		kg	5		kg
3		kg	6		kg

どのごみが減らせるか？ どのごみが減らせないのか？

	減らせるごみ	重さ		減らせないごみ	重さ
1		kg	1		kg
2		kg	2		kg
3		kg	3		kg
4		kg	4		kg

減らせる理由、減らせない理由を書こう

ごみを探検

いくつに分ける？

～ごみの分別体験～

1 ねらい

- (1)「ごみは、分ければ資源」と言われるが、ごみの分別について考えるきっかけをつくり、「ごみを分ける」ことを気づかせたい。
- (2)ごみを分けるのは、「他の誰でもない、自分だ」ということに気づかせたい。

2 関連教科

道徳・学級活動

3 用意するもの

- (1)各種ごみ：缶類(アルミ缶、スチール缶、スプレー缶)/びん類(透明びん、茶色びん、その他の色(緑、青、黒など)のびん、リターナブルびん)/古紙類(紙パック、段ボール、新聞、折り込みチラシ、雑誌、コピー用紙)/割り箸/トレー類(白、その他の色)/生ごみ/ペットボトル/ペットボトルのフタ/金属製キャップ/ライター/プラスチック製容器/紙おむつ/ガラス類/陶器類/乾電池/古布/靴など
- (2)軍手/付せん紙

4 進め方

問いかけ

家からのごみは、どのように出しているのか？/どのようにしてごみを処理しているのか？
「ごみを分けて出している」ことを知っているか？
ごみはいくつに分別していると思うか？

本題

基準を作ってごみを分けよう

- (1)数人ずつのグループに分け、それぞれごみの分別数を決める。
2分別、5分別など
- (2)各グループで、決められた分別数にごみを分けるための理由と基準を話し合う。
- (3)基準に沿って、ごみを分別する。
- (4)分別し終わったら、グループごとに、分別したごみと分別基準を紹介する。

気づき

- (1)分別する数によって、ごみは分けやすかったか？分けにくかったか？
- (2)分別したごみは、どう処理されるのか調べてみる。
- (3)分別したごみは、なぜ資源になるのか？

発展

各市町村で、分別したごみがどのように処理・再利用されるのか調べる。

いくつに分ける？ ワークシート

月 日

メンバー名

名前

さあ、目の前のごみを分けてみよう
ごみを分ける基準を決めてみよう

ごみの 分別 分ける基準

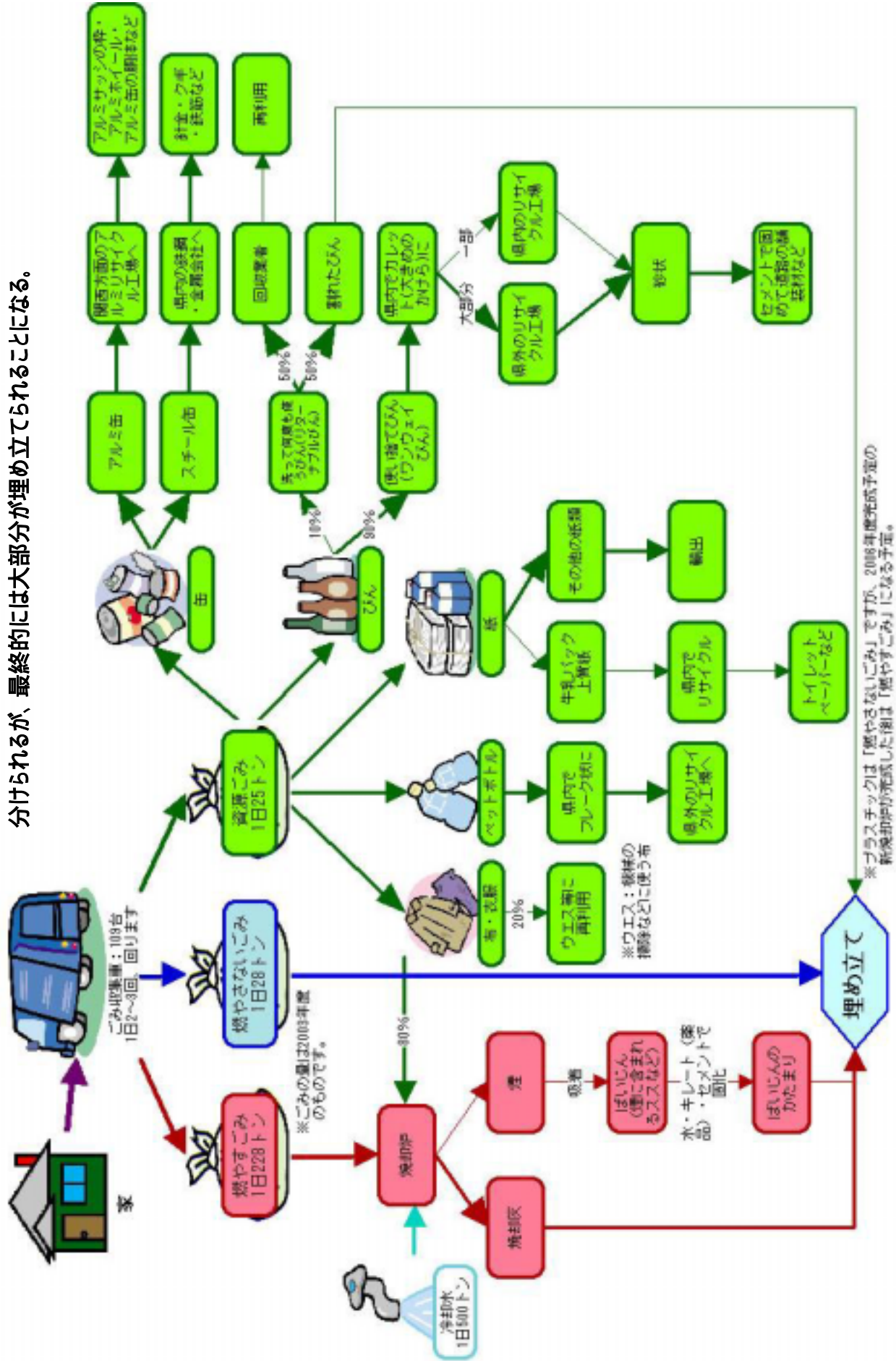
ごみを いくつに分けるときの、何が難しかったか？何が簡単だったか？

難しかったこと

簡単だったこと

情報 那覇市のごみ処理の流れ

家から出たごみは、大きく「燃やすごみ」「燃やさないごみ」「資源ごみ」の3つに分けられるが、最終的には大部分が埋め立てられることになる。



埋めて、どーなる？埋めて、どーする？

～分解まで考えよう～

1 ねらい

- (1) ゴミとして出されるものには、自然に分解されるものと、そうではないものがあることに気づかせたい。
- (2) 自然に分解されるものは、自分たちでも処理できるものがあることに気づかせたい。
- (3) 自分たちが捨てたあとコストが必要になることに気づかせたい。

2 関連教科

理科

3 用意するもの

各種ゴミ(生ゴミ、トレー、ペットボトル、びん、陶器、古紙など)/スコップ/目印板/アミ袋

4 進め方

問いかけ

ゴミは捨てた後どうなるのか？/ゴミは放っておいたらどうなるのか？

本題

ゴミの変化を見てみよう

- (1) 各ゴミをそれぞれ同量ずつ3つ用意する。
- (2) これらのゴミを、適当な場所に穴を掘って埋める。大きめの目のアミ袋などに入れて埋めるとあとで確認しやすい。
この時ゴミを埋めた場所に、1, 2のように、それぞれ種類と番号を書いた板をさして、目印しておく。
- (3) 適当な期間(一週間ほど)をおき、各ゴミを一つずつ掘り返して変化を確かめる。

気づき

- (1) それぞれのゴミの変化(分解)の様子をまとめる。
- (2) どうして分解されなかったのか(分解されたのか)？
- (3) 分解されなかったゴミは、どうしたらいいのか？
- (4) 分解するには、何が必要か？ 人？ 時間？ お金？ 設備？
- (5) ゴミになるものは、分解されるものが多いか？ 分解されないものが多いか？
- (6) 分解されるゴミと、分解されないゴミは、どう処理されているか？

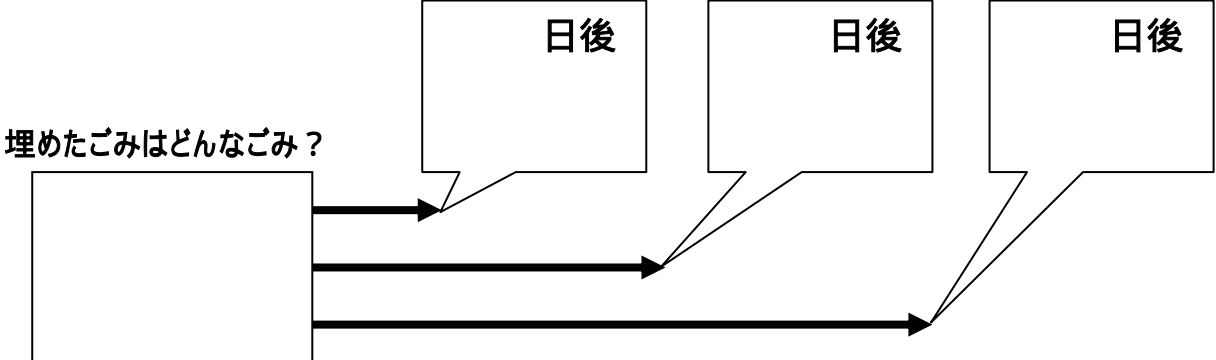
発展

- (1) 自然に分解されないものを分解するには、何が必要なのかを考える。
人？ 時間？ お金？ 設備？
- (2) 生ゴミに手を加えることで、分解のされ方がどう違うかを調べる。
そのまま ゆでたもの 細かく刻んだもの など
- (3) 市町村で、分解されるゴミと、分解されないゴミが、どう処理されているか調べる。
- (4) 分解されるゴミについて、自分たちで処理できるもの、処理方法を調べる。

埋めて、どーなる？ 埋めて、どーする？ ワークシート

月 日	メンバー名 名前
-----	-------------

埋めたごみがどうなるのか予想しよう



埋めたごみの変化を記録しよう

埋めたごみの種類	() 日後のようす	() 日後のようす	() 日後のようす

ごみを探検

ポイ捨てごみ探偵団

～ポイ捨てごみマップ作り～

1 ねらい

- (1)自分たちの校区内を調べることから、身近な環境に関心を持たせたい。
- (2)実際に、ごみがどのように捨てられているかを調べることで、何が問題なのかに気づかせたい。

2 関連教科

道徳

3 用意するもの

調査区域の地図/ビニール袋/ちりとりバサミ/軍手/カメラ

4 進め方

問いかけ

普段、どんなごみが捨てられているのか、見たことがあるか？/どんな場所に、ごみが多く捨てられているのか？

本題

ポイ捨てごみマップを作ろう

- (1)グループに分かれ、それぞれの調査範囲を決めてポイ捨てごみの調査を行う。
調査項目：種類、量、場所
タバコの吸い殻、タバコの空き箱、スナック菓子の袋、紙くず、空き缶、ジュースのパックなど
ポイ捨てごみのあった場所の様子も記録する。
カメラで捨てられている様子や付近の様子を記録する。
- (2)ポイ捨てごみマップの作成。
地図にポイ捨てごみのあった場所、種類、量を書き込んでいく。
写真やサンプル、図や表も使って地図を完成させていく。

気づき

- (1)どんな場所に、どんなポイ捨てごみが多かったのか？
- (2)ごみが捨てられる物語を考えてみよう。
だれが、どこで買って、どんな時に捨てたのか？
物語を考えることから、ごみのポイ捨てをなくすにはどうしたらいいのか考える。

発展

ごみが一番多かった場所で、ごみを片づけたあと、どうなっていくのかを追跡調査する。



ポイ捨てごみ探偵団 ワークシート

月 日

メンバー名
名前

ポイ捨てごみをチェックしよう

調べたときの 時間	調べた場所	ごみの内容	回りの様子

ごみが迷子だ、身元調べ

～海岸での漂着ごみ調べ～

1 ねらい

- (1) 海岸や海洋のごみ汚染に気づかせたい。
- (2) どんなごみが漂着しているのか知ることから、そのごみがどうして生じるのかを気づかせたい。

2 関連教科

学級活動

3 用意するもの

ごみ袋/軍手/ハカリ/カメラ/国別バコード表

4 進め方

問いかけ

海に行って気づいたことはあるか？ / どうして海岸にごみがあるのか？

本題

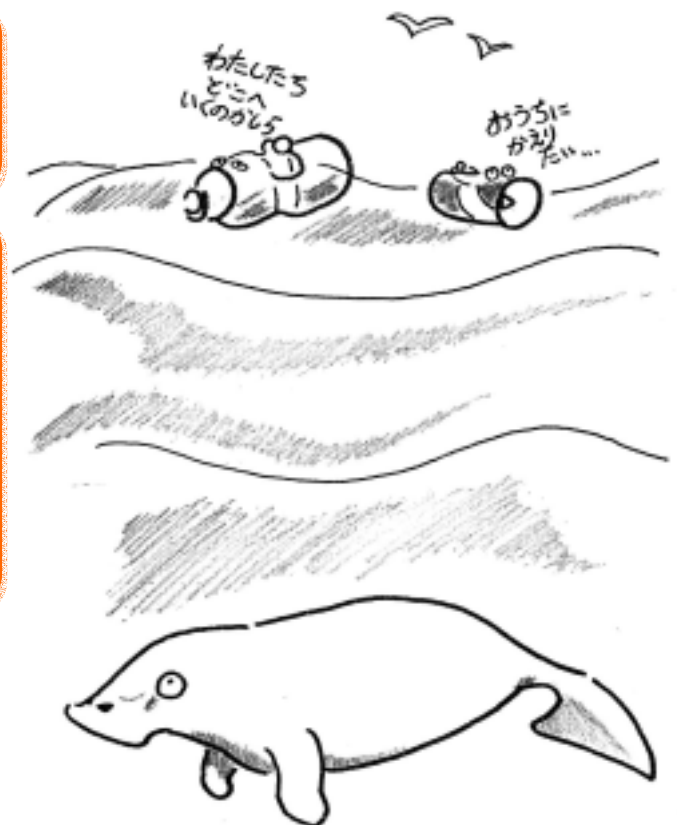
- (1) 海岸で漂着したごみを集めてみる。流れ着いたようすを写真に撮る。
- (2) 集めたごみを分けてみる。
どう分けたいか？
国別コード表を使って、どこの国のごみなのか調べる。
- (3) 人が捨てたごみはどれか？
- (4) 調べた結果をまとめよう。

気づき

- (1) 分解されないで残ってしまうごみはどれか？
- (2) なくすことのできるごみはあるか？

発展

- (1) 季節で違いがあるのか調べる。
- (2) 人が捨てたごみの物語を考える。
だれがどこで買ったのか？ 何のために買ったのか？ どこで捨てたのか？ どうやって海まで来たのか？
- (3) いろいろな場所のごみマップを作る。グループやクラス、学年で分担してもいい。



ごみが迷子だ、身元調べ ワークシート

月 日	メンバー名
	名前

流れ着いたごみを調べよう
調べた場所：

	種 類	数	そのうち外国製の数
プラスチックとビニール	ペットボトル		
	洗剤ボトル		
	キャップ(ふた)		
	たばこフィルター		
	ライター		
	つり糸・漁具など		
	レジ袋・おかし袋		
	弁当容器・破片		
	発泡スチロール		
紙	新聞・雑誌		
	たばこの箱		
	牛乳パックなど		
ガラス	ビン		
	ガラス片		
鉄	カン・金属片		
その他	タイヤ		
	電気製品		
	危険な物		
	特殊な物		
合計			

国別コード表 1999年1月現在のEAN加盟国と国別番号

国際的な統一商品コード。ベルギーに本部のある国際EAN協会が管理している。

EAN(European Article Number)

バーコードの最初の2～3桁が国別の番号

国別番号	国名	国別番号	国名
00～09	アメリカ、カナダ	64	フィンランド
30～37	フランス	690～692	中国
380	ブルガリア	70	ノルウェー
383	スロベニア	729	イスラエル
385	クロアチア	73	スウェーデン
387	ボスニア・ヘルツェゴビナ	740	グアテマラ
400～440	ドイツ連邦共和国	741	エルサルバドル
460～469	ロシア連邦共和国	742&744	ホンジュラス、コスタリカ
471	台湾	743	ニカラグア
474	エストニア	未定	ウズベキスタン
475	ラトビア	745	パナマ
477	リトアニア	746	ドミニカ共和国
479	スリランカ	750	メキシコ
480	フィリピン	759	ベネズエラ
481	ベラルーシ	76	スイス
482	ウクライナ	770	コロンビア
484	モルドバ	773	ウルグアイ
485	アルメニア	775	ペルー
486	グルジア共和国	777	ボリビア
487	カザフスタン	779	アルゼンチン
489	香港	780	チリ
49&45	日本	784	パラグアイ
50	英国	786	エクアドル
520	ギリシャ	789	ブラジル
528	レバノン	80～83	イタリア
529	キプロス	84	スペイン
531	マケドニア	850	キューバ
535	マルタ	858	スロバキア
539	アイルランド	859	チェコ
54	ベルギー・ルクセンブルク	860	ユーゴスラビア
560	ポルトガル	869	トルコ
569	アイスランド	87	オランダ
57	デンマーク	880	韓国
590	ポーランド	885	タイ
594	ルーマニア	888	シンガポール
599	ハンガリー	890	インド
600&601	南アフリカ共和国	898	ベトナム
609	モーリシャス	899	インドネシア共和国
611	モロッコ	90～91	オーストリア
613	アルジェリア	93	オーストラリア
619	チュニジア	94	ニュージーランド
622	エジプト	955	マレーシア
625	ヨルダン	959	パプアニューギニア
626	イラン		

漂着ごみ調べの例

石垣島・西表島 外国からの漂着ごみ



国名	漂着ごみの数	国名	漂着ごみの数
中国と香港	343	ドイツ	2
台湾	258	イギリス	2
韓国	229	インド	2
フィリピン	52	コロンビア	1
シンガポール	20	フランス	1
マレーシア	15	タイ	1
アメリカ	15	オーストラリア	1
インドネシア	8	ベルギー	1
ベトナム	8	日本	152
イタリア	4	国不明	2017

ちゅら島環境美化条例を知っていますか？

ちゅら島環境美化条例は16条からなり、目的、定義、県の責務、県民等の責務、事業者の責務、土地の占有者等の責務、投棄の禁止、基本方針、環境美化促進モデル地区、環境教育及び学習の推進、自発的な活動の推進、罰則等からなっています。

沖縄県は国内随一の亜熱帯特有の景観や世界に誇れる美しい海を始め、豊かな自然環境に恵まれています。このような景観、自然環境は私たちの誇りであると同時に、次の世代へ引き継ぐべき貴重な財産でもあります。

しかし、一步外へ出て私たちの周りを見渡すと、道路、公園、観光地などあらゆる所で空き缶、煙草の吸い殻などのごみが投げ捨てられ、街の美観を損ねていることも珍しくありません。

このような状況から、空き缶、煙草の吸い殻など屋外で散乱しやすいごみの発生をおさえるための基本的なルールを定めると共に、県民、事業者、市町村、及び県が一丸となって環境美化に取り組むくみを築き定着させていくため、県の施策を明らかにした「ちゅら島環境美化条例」が制定されました。

この条例の重点目標は、空き缶、たばこの吸い殻などごみのポイ捨てをなくすことです。

そして、県では、

- 一、捨てない、捨てさせない、守礼の心でちゅら島の実現。
 - 一、屋外のごみ捨ては、原則持ち帰りの徹底を。
 - 一、出来るところから、環境美化の取り組み。
- を呼びかけています。

